

師走愛南文芸

内海俳句会

色変えぬ松に文士の詩褪せず
雁の空暮色にわかには水尾もなし
消え残る銅鑼に佇ずむ時雨傘
秋灯思考に耽る未完の詩

太田 信子

岩森十志子

檳榔子俳句会

蔓たぐり使い込みたる父の鎌
水澄むや手本としたいアブラハム
大いなるもんべの尻や蔓たぐり
末生りも味のある色蔓たぐり
生垣に絡む野葡萄こむらさき
幾年も蔓たぐりして村に老ゆ
しんなりと指跡のこる吊し柿
蔓たぐりこの身に絶るもの数多

山口 董

吉田 朝子

五島 節子

山口 和子

濱野 康子

泉 くらら

田中 博子

三好ミキエ

子の夢の未だ遙かや吊し柿
子に送るほどの柿干す軒端かな

吉田モミエ
井上 論天

みなみうわ俳句会

ありがとうは一度でいいよ虫すたく
雨上がる一日一日に秋の暮
一向に戻らぬ暮し返り花
木屋の見えぬ香りを標とす
秋ざくら地球にコロナといういくさ

中川千代子

竹村 勝利

木村 智子

清水 麗子

濱 初榮

西海俳句会

盆踊更けて磯の香強まれり
老の我失敗重ね詫びる秋
暮早し出かせぎ話老一人
コロナ渦帰省するなと兄弟に
草取りも金木屋の降り来れば

吉田 勝也

吉田 笑代

浜木チズエ

利根早智江

吉田 弘定

はじめまして。赤ちゃん。

10月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

10月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

▶俳人をご紹介します

菊川俳句会 中川 一喜さん(久良)

私が菊川俳句会に入会して9年になります。

その時には、一番年少で緊張しながら出席したのを懐かしく思い出します。今では先輩たちは全員卒業され、若輩ながら私が一番年輩になってしまいました。

句会ごとにその句会の句風が吹いていると思いますが、菊川俳句会は、年中早春の風が吹いています。小学校5年生、6年生、中学校1年生の若い息吹が自慢です。私の孫のような子どもたちと月一度の句会で会い、成長をうれしく感じているこの頃です。

一番思うことは人との出会いです。俳句を通して知らなかった人とのつながりができたことは人生の宝物になっています。



※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。